

# 全国一般全国協

全国一般労働組合全国協議会

編集発行人 遠藤 一郎

東京都港区新橋3-21-7 松本ビル

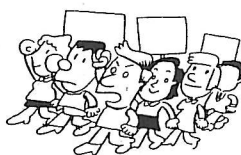
TEL 03-3434-1236

FAX 03-3433-0334

## 雇用破壊NO! 東海道リレー行動

雇用破壊NO! 全国調整会議のよびかけで行なわれた東海道リレー行動は、四月二日大阪を出発、京都、名古屋、静岡、横浜、大宮に到着、倒産、失業NO! 派遣法、職安法改悪反対を訴えた。リレーでつないだ闘いは、四月二日の中央行動を成功させた。

(二面に関連記事)



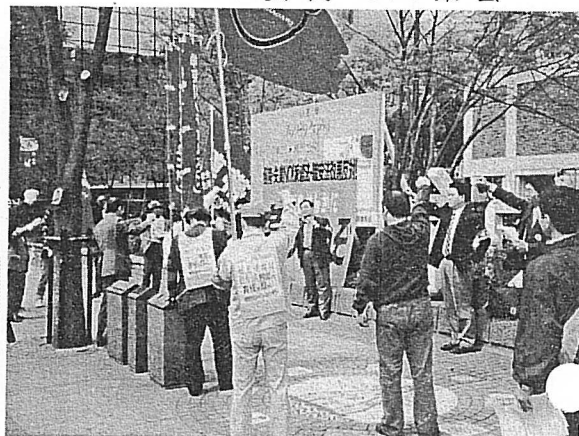
▲ 東京/労働省で雇用破壊NO!!



▲ 名古屋/日商岩井はシャルマン倒産の責任をとり!!



▲ 大阪/大和銀行にNO!!



▲ 神奈川/県庁前で倒産・失業NO!!



◀ 京都/パソナは不当派遣をやめよ!!

東海道をリレーでつなぎ  
4.21中央行動成功!

# 3~4月「倒産、失業反対！雇用破壊NO！」運動

全国一般全国協中央執行委員会

## 成功した全国連鎖、 東海道リレー行動、21中央集会

雇用破壊NO！全国調整

四月二日には二五〇名

会議がよびかけた倒産、失業NO！派遣法、職安法改悪反対の東海道リレー行動は、四月二日大阪を出發し、一六日には横浜、大宮に到着した。自立労連の宣伝カーをリレーし、「倒産なんかには負けないぞ」の立て看板を立て、住友銀行（全日建運輸連東亜分会倒産闘争）、日商岩井（全統一シャルマン分会倒産闘争）、パソナ（派遣会社最大手、違法派遣）各支店、本店への抗議、要請行動を取り組んだ。また、各県の職業安定行政窓口、雇用保険行政窓口にて雇用確保と失業給付、職業訓練の充実を求め申入れ行動を展開した。統一地方選挙があり、各地区とも忙しかったが、昨年の全国キャラバンの経験を生かしすばやい準備が進められ、成功した。

四月二日には二五〇名の仲間が早朝から、日商岩井、東京総和銀（東京労組埼玉支部カメラのニシダ倒産闘争）、第一勧銀（全国協東京南部和泉家倒産闘争）、ブリジストン（リストラに抗議して自殺した管理職の追悼と「死ぬな、辞めるな、闘おう」の訴え）住友銀行、

### 重要局面を迎えた 派遣法改悪反対闘争

#### 四月下旬から国会での審議が本格的に開始された。

四月下旬から国会での審議が本格的に開始された。連休明けには、七、十一、十二、十四日と連続して衆議院労働委員会が開かれ、十九日には委員会採決、衆議院を通過、二〇日には参議院に送られようとしている。派遣労働を原則自由化することによって、常用雇用労働者を派遣に置き換え、雇用責任を負わずに使い回す、雇用破壊法を許してはならない。派遣労働が

会もあり、全国協は双方の集会成功に向け取り組んだ。野党三党（社民、公明、民主）統一修正要求が出されたが、余りに不十分である。最後まで派遣法改悪阻止に向け闘いぬかなければならない。

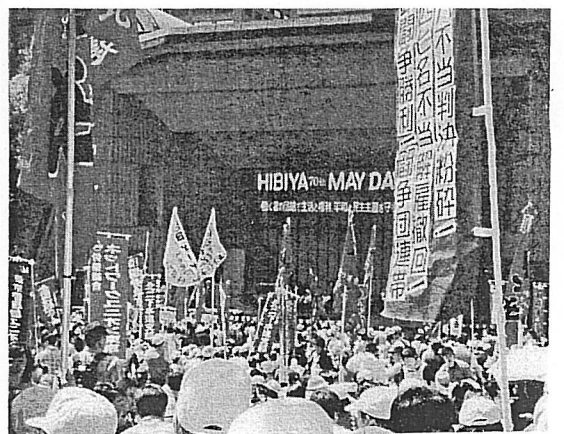
### 反失業闘争 の全体像を構 想し、夏から 秋の闘いを準備しよう

倒産させない闘い、失業者生活保障の闘い、仕事を保障させる闘いの全体像を組み立てる必要がある。資本と政府は産業競争力会議を作り、三つの過剰（債務、設備、雇用）を政府の援助で解消しようという方針を打出して来た。失業率は四・八%になっており、五%を大きく上回るのは確実と言われている。反失業闘争に全力で取り組もう。

### 新ガイドライン関連法を廃案へ

四月十五日、新ガイドライン関連法案

様々な立場から戦争法案に反対する発言が行われました。でたらめな衆院通過を弾劾し、いっそう広範な反対の声で参議院を囲み、戦争法案を廃案へ追い込まなくてはなりません。六月には韓国やフィリピンの闘う仲間が来日し、反戦平和のアジア共同行動集会在十六日の東京南部労政から各地で開かれます。二度と侵略戦争を繰り返さない為に沖縄やアジアの仲間と連帯し、生活破壊と戦争の道を許さない闘いを職場・地域で進めましょう。



▲ 1999.5.1 日比谷第70回メーデー

# 各地の九九春闘・争議報告

## 群馬発

### 春闘の闘いをバネに 夏季一時金を闘おう!

金属一般昭和電気鋳鋼労組 書記長 天田重雄

かつてない厳しい春闘情勢の中、九九春闘を闘ってきたが、すでに五月連休もあけ、夏季一時金要求の取組も開始しているところで、春闘の闘いの報告をしながら夏季一時金のステップにしていきたいと考えます。

昨年来から続く不況の中で、春闘アンケートを実施し組合員の生活実態を調査し、春闘の取組を始めた。

しかし企業情勢は受注量の低迷から、一時帰休の実施や企業のリストラ攻撃の中で時間外労働も規制され、生活を守り得る賃金の要求と期待が高まった春闘であったと思う。

要求の前段には全国協から遠藤書記長を講師に全国協春闘パンフで学習し情勢認識の学習をした。

日経連の春闘方針に出された「ベアゼロ」「賃上げよりも雇用優先」「ワークシェアリングの提起」など、

まさに中小の我々にもこのような攻撃の中での春闘であった。

しかし、この様な不況の要因は消費税の引き上げや医療費改悪による国内消費の後退が引き金であり、大幅賃上げを勝ち取り景気回復で我々の生活を守る事が春闘の課題であったと思う。

## 神奈川発

### 生田病院支部とヤシマ物流分会の闘い

全国一般神奈川地連

生田病院を抱える医療法人新光会は、借入金が増大によって経営不能となり、組合の了解前提で病院の売買となった。組合の内部討議が幾度も重ねられたが、神様ばかり拜んでいる無能力な経営者とは、これ以上お付き合い出来ないとの結論に達した。さっそく新医療法人経営予定者との交渉が始まり、以下の概要で協定書作成が確認された。一、

要求二万五千円を企業に出したが、回答日に受けた回答は賃上げは見送りのゼロ回答でした。いつでもストが打てる闘争態勢を維持し交渉を粘り強く展開した結果、四千百円の回答を引き出し、四月十四日に妥結ができました。ゼロからの交渉でどうにか解決ができたのも地域や全国協の仲間の指導が合ったからと感謝しています。夏季一時金も厳しい闘いが予測されますが、今後もよろしく願います。共に頑張ろう。

## 全国的外国人労働者のたたかいにインパクト!

### 熊本発

くまもとゼネラルユニオン 勝利和解拒否・雇用更新拒否

くまもとゼネラルユニオンの三人の組合員に対する任用更新拒否、解雇の問題は熊本地労委の不当労働行為の調査段階で和解が成立した。三月二四、二六両日の延べ二十時間にわたる断続的な和解協議においての基本合意点は以下のとおり。

- (1) 組合員二名に対して雇用を一年延伸する(一名については常勤職としてすでに採用が決定していた)。
- (2) 県と大学は二名の常勤職への任用の期待を理解する。
- (3) 組合は常勤への身分変更及び任用更新が県と大学の行政行為としての専権事項であることを確認する。
- (4) 両者は健全な労使関係の確立のため誠実に協議する。

この和解の意義は、二名の解雇という最悪の事態は免れ、取り合えず雇用は確保されたことに尽きる。外国人にのみ雇用の期限を設けたり、別の処遇をするという差別の問題は解決されていない。しかし、組合員が職場に踏みとどまり、たたかいを継続できる意義、利益は計り知れなく大きい。常勤職としての任用、雇用差別の撤廃のたたかいはあらたな局面に入った。

この間のくまもとゼネラルユニオンのたたかいには、熊本、全国、世界から多くの支援が寄せられた。六千名を超える署名、インターネットを介した世界からの賛同人への参加、異文化の交流のすばらしさを示した

支援コンサート、国籍差別を撃つシンポジウムと息をつく間もないほどの運動が展開された。「守る会」(花田昌宣代表)による文部省交渉は、大学の姿勢を転換させることとなった。また、地元新聞は連日のようにこの問題を報道し、組合に対する世論の支持を作り出した。最終局面では弁護士をおした県との水面下の折衝が大きなポイントとなり、地労委の委員の尽力も和解成立の後押しをした。これらの力総体が背景となって、熊本県という行政組織が一端決定した「首」を覆すことができたのだと思う。

そして何よりも一人は先行的に常勤化が決まり、二人は再雇用のめどがたたなという厳しく困難な局面を、三人を中心とした組合員が団結してがんばりぬいたことが決定的だった。生後三ヶ月の赤ちゃんを抱きながら自らの雇用を守るために労働委員会に参加するサンドラ・ミッチェル組合員の姿は感動的でした。和解交渉の過程では、日本人と外国人が激論を闘

わせ、時に大喧嘩をしながら、ようやく見解をまとめることができた。

この和解はたしかに一歩前進にすぎない。しかし、全国の外国人労働者のため

### 東京発 銀行は労働債権を横取りするな!

全国一般東京南部和泉家支部

いつものように翌日の注文の確認をし仕込みも終えて片づけ始めた二月十五日の終業間際、従業員が集められた。社長と専務、弁護士、なんだか様子が変だと思ふ間もなく、「会社は破産申請をした、明日から全

かいにとって大きなインパクトとなっている。成果を連鎖して、外国人労働者のたたかいのうねりをつくりだしていききたい。

倒産に至るまでの説明を従業員に何らせず、この老舗のれんを簡単に下ろしてしまつた。

この倒産は、和泉家を支援する銀行が抜け駆け的な債権回収や貸し渋りの姿勢を取ったことで経営に嫌気がさした長谷部一族が、長年勤めてきた従業員のことを一切考えずに、債務支払いを逃れるための破産申請をしてしまったことにある。かくして八四名が路頭に放り出された。倒産をするならば従業員への解雇予告手当、退職金などを本来最優先に支払うべきなのに、

「あとは裁判所に任せた。労働債権は支払ってもらえるかどうかわからない」という無責任きわまりない会社の態度に怒りを禁じ得なかつた労働者が組合を結成、現在五四名が労働債権確保のために闘っている。しかし組合結成が裁判所の破産決定後だったために、その闘いはとても厳しい。

和泉家労働者の生活を苦しめる未払いの労働債権は約二億円、負債総額八億円のほとんどは不動産などの担保を持つ銀行である。労働債権は先取り特権というもの、担保権者がそれに

### 長崎発 三菱重工の下請けいじめを許さないぞ

全国一般長崎連帯支部

優先するため、銀行だけが債権回収でき労働者の回収はゼロになりかねない。和泉家支部の仲間たちは、「銀行は倒産会社労働者を救う責任がある」と倒産法の枠組みに異議を申し立てる。最も腹の立つのは経営者一族だ。しかし弱者は弱者のままでもいいとするこの社会がなんと言つても口惜しい。和泉家支部の仲間たちにご支援を!

長崎連帯支部の九九春闘は、かつてない厳しさの中にあります。浦上運送分会では、九八年二十%の運送料削減、九九年更に十%の削減予告など、三菱重工のなりふり構わぬ下請けいじめの中で、会社は十%の賃金カットを逆提案。これに對して組合は、単に「経営が苦しい」という安易な理由による賃金カットは認められない、作期の決算報告書や、賃金カットした場合の具体的な経営計画等を示せ、と反論し交渉してあります。また同じ三菱重工の下請けである長崎鋼業所でも、四月以降の下請け単価の決定待ちで回答が延期されているが、団交の際に会社は「ゼロ回答」もあり得るとの発言を行っています。そ

国鉄闘争も、ついに十三年目に突入しています。一つひとつ闘いを積み重ね、今日「政治の責任による解決」を図らせる上でたいへん重要な段階を迎えています。

こうした状況の中、闘争団では、解雇撤回・地元JR復帰を柱とする全面解決要求を、一人ひとりの要求としてより明確化する議論を進めています。これは、単に要求の明確化という事だけではなく、明確にした

### 稿 更なる大衆闘争に立ち上がる 寄 国労闘争団全国連絡会議

今こそ国労の総力を結集し、具体的大衆行動を背景に、政府とJR会社に採用差別を始めとする労使紛争の全面解決の決断を迫る

みんなの要求を現実のものにするために一人ひとりが何をするのか、どう闘うのかの議論も並行しながら改めて勝利をつかむ決意を固め合うことも目的です。展開します。

具体的には、闘争団上京行動を五月六日～五月十五日(二十名、国会前座り込み行動中心)、国鉄闘争勝利大決起集会(五月十八日、

十八時～日比谷野音)、国労東京・千葉・水戸・高崎四地本が取り組む首都圏総行動を五月二十五日～六月二五日(十時半～十一時半JR東日本本社前行動、十三時～十五時国会開会中は国会前座り込み行動、国会閉会後は運輸省前座り込み行動：この期間中も闘争団上京行動を組み共同行動をする)を取り組みます。この局面の闘いに、どうか多くの皆さんのご支援をよろしくお願い致します。